

イリヤ・カバコフ

『世界図鑑』 — 絵本と原画 —

会 期:2007年9月15日(土)~11月11日(日)
休館日:9月18日(火)、25日(火) / 10月1日(月)、9日(火)、
15日(月)、16日(火)、22日(月)、29日(月) / 11月5日(月)
開館時間:午前9時30分~午後5時(入場は午後4時30分まで)
観覧料:一般1200 (1100) 円 20歳未満・学生1050 (950) 円
65歳以上600円 ※()内は20名以上の団体料金です。
※高校生以下の方、障害者の方は無料です。

会 場:神奈川県立近代美術館 葉山
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
tel.046-875-2800

主催:神奈川県立近代美術館、東京新聞 協力:全日本空輸



今年のヴェネツィア・ビエンナーレを始め、ニューヨークを拠点として国際的に活躍しているイリヤ・カバコフ(1933-)は旧ソ連のドニエプロペトロフスク市で生まれました。現在は大規模な「トータルインスタレーション」*で知られる現代作家ですが、旧ソ連時代には「非公式」芸術家として活動する一方で、1950年代から共産主義体制の中で絵本画家として生活していました。

今回の展覧会は、絵本画家としてのカバコフの創作を約100冊の絵本と、その原画約1000点によって、世界で初めて本格的に紹介するものです。絵本の多くは子ども向けで、カバコフが美しく、かわいらしく描き出した動物や乗り物、人々の暮らしなどは、本の内容から離れても、絵そのものとして十分に楽しむことができます。展覧会は、絵本の内容によって分けられた①生活、②科学と産業、③イデオロギー教育、④物語、⑤詩という5つの大きなセクションと、『オーシャと友達』というロシアに住むユダヤ人を扱った書籍を特集したコーナー、そして、絵本に関連したドローイングのコーナーから構成されます。5つの大きなセクションについては、会期の前半(10月14日まで)、後半(10月17日から)でほとんどの作品が入れ替わります。

なお、毎月第1日曜日はファミリー・コミュニケーションの日として、18歳未満または高校生以下のお子様連れのご家族の方は、無料でご観覧いただけます。高校生以下の方は常に無料です。また、10月13日(土)は4年前の葉山館開館を記念して、来館者はどなたでも入場を無料といたします。ぜひとも親子で、または子どもの頃に親しんだ絵本の世界を思い出しながら、海辺の美術館での1日をお楽しみ下さい。

*注: 見る人が天井、壁、床、オブジェ、光、色といったあらゆる要素が結合したインスタレーションの中を進んでいくにつれ、それぞれの空間が劇的な展開を見せるもの

美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。
http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2007r_kabakov.pdf

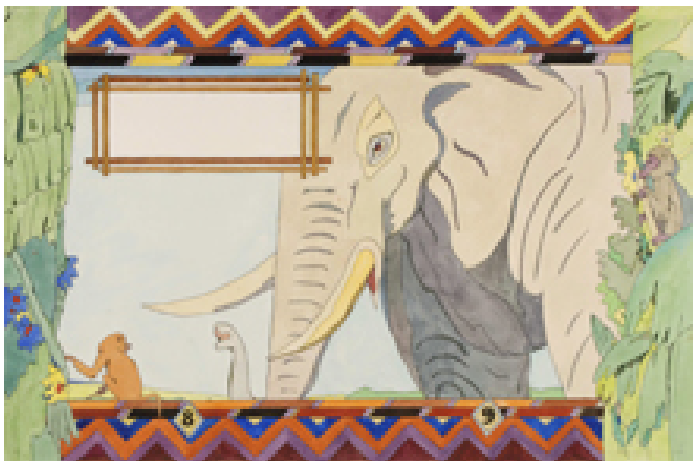
お問い合わせ先 神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
tel.046-875-2800 / fax.046-875-2968 広報担当:奥野・笠井 展覧会担当: 靄山
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/>



『巨人たちの長い一日』(1970年刊)の挿絵原画



『電線を通してやってくる太陽』(1977年刊)の挿絵原画



『遠くと近く』(1982年刊)の挿絵原画



『空を飛ばたい』(1983年刊)の表紙原画



『オーケストラ 子どものための詩集』(1983年刊)の挿絵原画



『歩行者の学校』(1984年刊)の挿絵原画